

会 議 録

平成19年6月14日調製

審議会等名	平成19年度 第1回 三条市公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成19年5月31日(木) 午後1時55分～4時		
開催場所	下田公民館 講堂	傍聴者	なし
		報道機関	三條新聞社
出席者氏名	運営審議会委員 (14人) 小林斉子委員長(議長) 鈴木達夫副委員長 丸山宗夫委員 丸山正夫委員 高井 茂委員 小出 昇委員 山井秀榮委員 佐野文雄委員 田中 茂委員 金子敏行委員 小柳智秀委員 野崎信雄委員 米山文子委員 川沼豊子委員		
	公民館職員 (18人) 宗村中央公民館長 村田嵐南公民館長 藤崎井栗公民館長 鈴木本成寺公民館長 大坂大崎公民館長 石田大島公民館長 高波栄公民館長 佐藤下田公民館長 金子館長補佐(中央) 麦倉副参事(中央) 阿部主査(中央) 川瀬囑託員(井栗) 田中囑託員(本成寺) 小林囑託員(大崎) 阿部囑託員(保内) 渡辺囑託員(大島) 木村館長補佐(栄) 荒井主任(下田)		
議 題	(1) 委員長、副委員長の互選		
	(2) 報告事項		
	ア 平成18年度実績報告について		
	イ 平成19年度事業計画について		
	ウ 「公民館の長期講座のあり方及び今後の方向性」の答申の対応について		
	(中間報告)		
	(3) その他		
会議内容	別紙のとおり		

宗村中央公民館長	<p>定刻より少し前ではありますが、皆様おそろいですので、これより、平成19年度第1回公民館運営審議会を開催いたします。</p> <p>皆様方にはお忙しい中、会議にご参集をいただきありがとうございます。</p> <p>今回は本審議会の改選期に当たり、委員15人のうち、10人の方を新たに委員としてお願いしました。また、公民館長も8人のうち2人が交代しました。分館長も5人のうち3人が交代し、職員についても嘱託職員の大幅な交代や正職員の削減がありましたことについて、まずもって報告し、ご理解をいただきたいと思ひます。</p> <p>本日は、平成18年度の公民館の実績報告と19年度に取り組んでいく事業の報告、及び本年3月に答申をいただきました長期講座のあり方の対応について、現在検討している案について中間報告的に報告をさせていただき、ご意見をお伺いしたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>なお、改選後最初の会議ですので、委員長、副委員長は不在です。委員長選任までの間、事務局で進行させていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>最初ですので、自己紹介をお願いします。</p> <p>—— 三条市公民館運営審議会委員名簿の順により順次自己紹介 ——</p> <p>—— 各公民館長名簿の順により順次自己紹介 ——</p>
宗村中央公民館長	<p>—— 「公民館運営審議会委員の手引き—再改訂版—」に基づき、公民館運営審議会の役割、性格および位置づけ等について簡単に説明 ——</p>
宗村中央公民館長	<p>それでは、議題(1)委員長、副委員長の互選についてですが、審議会の委員長の選出については、指名推薦で行いたいと思ひますが、いかがでしょうか。</p> <p>—— 異議なしの声あり ——</p>
宗村中央公民館長 金子委員	<p>それでは、ご推薦をお願いします。</p> <p>小林委員からお願いします。</p>
宗村中央公民館長	<p>小林委員から委員長に、ということで推薦いただきましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>—— 異議なしの声あり ——</p>
宗村中央公民館長 小林委員長	<p>全員小林委員長ということでありますので、小林委員よろしくお願ひします。ただいまご推薦を受けました、小林でございます。</p> <p>過去2年間運営審議会の委員長を務めさせていただきまして、諮問をいただきながら講座のあり方について答申した経緯もございます。委員の皆さまのご意見を最大限に尊重しながら運営審議会を進めて行きたいと思っておりますので、よろしくご協力のほどお願ひします。</p> <p>それから、新しい公民館長さんが2人任に就かれたわけですが、私達が求めるような公民館運営をお願いしたいと思ひますので、大崎公民館、本成寺公民館の館長さんよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、これより議長として議事に移行したいと思ひます。</p> <p>これから副委員長の選任に入りたいと思ひますが、いかがいたしまししょうか。</p> <p>—— 委員長に一任の声あり ——</p>
鈴木委員	<p>副委員長の互選について提案させていただきます。</p>

小林委員長	<p>前回2年前、栄公民館推薦の委員さんから就任をお願いしたわけですが、今回も同様に栄からお願いしたい。</p> <p>下田の鈴木委員から、前回は栄公民館推薦の方から副委員長をしていただいたので今回も栄からという声があがりましたが、具体的に固有名詞をあげていただきたいと思います。そうでなければ、3人で協議をするということでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>3人の中で協議をしていただきたい。</p>
小林委員長	<p>ほかにございますでしょうか。</p> <p>それでは、2つの選択肢があるかと思います。委員長に一任するというのと栄の3人の方の中から協議をして選出する2つのご提案があったかと思います。いかがいたしましょうか。</p>
野崎委員	<p>昨年は栄公民館推薦の方で副委員長を選出ということでしたので、引き続きということよりも別の方から委員長一任でお願いしたほうがよろしいのではないかと。</p>
小林委員長	<p>野崎委員の方から、昨年は栄公民館推薦の方で副委員長を選出ということでしたので、別の方から委員長一任でお願いしたほうがよろしいのではないかとというご提案がありました。いかがでしょうか。</p>
米山委員	<p>委員長の指名でいいのではないかと。</p> <p>—— 異議なしとの声あり ——</p>
小林委員長	<p>今2つ出ました。皆さんにお諮りしたいと思います。1つは委員長指名、もう1つは栄地区の委員の方からの選任ですが、どちらかに挙手をお願いします。委員長指名でよろしい方、挙手をお願いします。</p> <p>—— 挙手多数 ——</p>
小林委員長	<p>それでは、多数で委員長指名とさせていただきます。</p> <p>下田公民館推薦の鈴木委員を副委員長に推薦申し上げますが、いかがでしょうか。</p> <p>—— 承認の拍手あり ——</p>
小林委員長	<p>それでは、鈴木委員をお願いします。</p>
鈴木委員	<p>ただいま互選されました、副委員長の鈴木でございます。未熟者でございますが、よろしく願いいたします。</p>
小林委員長	<p>それではこれより議事に入ります。報告事項平成18年度の事業報告についてお願いします。</p>
金子館長補佐	<p>—— 説明前に、正誤表により送付資料の修正を依頼 ——</p> <p>—— 資料冊子に基づき、全公民館の事業実績を総括的に説明 ——</p>
小林委員長	<p>ただいまご説明がありました、ご質問があったらお伺いいたします。しばらくしてないようですので、次に進ませていただきます。</p> <p>平成19年度の事業計画について、中央公民館からお願いいたします。</p>
金子館長補佐	<p>—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 ——</p> <p>(平成19年度三条市公民館運営計画、通学合宿、関越地域連携協議会事業感動体験道場)</p>
小林委員長	<p>全ての公民館の説明が終了してから、一括、質問・ご意見をお伺いいたします。</p>

村田嵐南公民館長	次に嵐南公民館お願いします。 —— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (重点目標、ふるさと講座、フレッシュ講座)
川瀬囑託員 (井栗)	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (重点目標、一日家庭教育学級、初心者パソコン教室)
田中囑託員 (本成寺)	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (重点目標、せいじん講座、郷土料理教室)
小林囑託員 (大崎)	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (重点目標、男の料理教室、ハンドメイド教室)
渡辺囑託員 (大島)	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (重点目標、ふしぎ！科学実験教室、親子ふれあい広場、笑顔で子育て講座)
木村館長補佐 (栄)	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (重点目標、ジュニア夏休みパス、ふるさと歴史探訪、ウォークラリー大会)
荒井主任 (下田)	—— 資料冊子に基づき、主に次の項目、事業について説明 —— (重点目標、通学合宿、こども体験教室、生活講座、男の料理教室)
小林委員長 丸山(正)委員	それでは、これより質問、ご意見を受け付けます。いかがでしょうか。 男の料理教室というのが、かなりあちこちで見受けられますが、参加人数や出席率はどのようか。また各公民館でも、これからこういうものを取り入れていられるのかどうか。
小林委員長 渡辺囑託員 (大島)	いままで、男性の料理教室をやったところから説明をお願いします。 大島公民館です。平成18年度実績報告の18ページをご覧ください。 男性料理入門教室は4回開催で、実人員12人、延べ人数44人でした。
田中囑託員 (本成寺)	本成寺公民館です。男の料理教室を男爵という名前で18年度は実施しました。昼と夜の講座がありまして、当初はそれぞれ11名の参加でしたが、夜はまだ現役の方が仕事が終わってから参加されており、仕事の関係などで最終的に昼は8人、夜は7人くらいで今年の2月に終了しました。
小林委員長	今年度に関してのお話ですが、明日開催されます「三条市男女共同参画審議会」のプランに基づくものに、この料理教室が全部入っていたと思いますが、これから、男女共同参画という視点で取り組むというお考えですか。
宗村中央公民館長	男の料理教室につきましては、今ほどおっしゃられた男女共同参画という精神といますか、そういった観点から取り組んでいかなければならないと思っています。 もう一つの視点として、食育が大事だということも男性の方から知っていただくということを展開していきたい。
小林委員長 丸山委員	丸山委員よろしいでしょうか。 はい。
小林委員長	ほかにございませんでしょうか。
川沼委員	嵐南公民館が知的障がい者のレクリエーションをやられるということで、素晴

	<p>らしいことだと思います。男女共同参画や食育もよいが、知的障がい者が多いことから、いかに社会の中に生かしていけるか、みんなで協力することが必要です。それを公民館で取り上げていただいたことは良いことで、ほかの公民館で取り組む方向でやっていただきたい。</p>
小林委員長	<p>これは、嵐南公民館の独自性のある事業だと思いますが、川沼委員のご発言は、他の公民館にも波及してほしいというお話でしょうか。</p>
川沼委員	<p>はい、そうです。私はその関わりも持っていますし、常に見ていて大事だと思っている。学校でも、健常者と一緒に成長していく姿を見ていますし、そういう機会を一般社会に出てもやっていただきたい。知的障がいや身体障がいの方がおられるので、公民館でも取り入れる方向で考えていただきたい。</p>
村田嵐南公民館長	<p>この事業を実施するときに、社会福祉事業か教育委員会事業かとうことで検討しまして、公民館事業としたところなんです。このフレッシュ講座については、三条市の社会福祉計画の中に位置づけられたところなんです。これらの方から期待をされているということです。</p>
小林委員長	<p>嵐南公民館の事業は、皆さんが評価されている中で、これから違う公民館でもこういう事業が立ち上げられるのか、公民館長さんも含めて検討していただきたいという意味が込められていると思いますので、ご検討をお願いします。</p>
小出委員	<p>どこの公民館もパソコン教室をやっておられるが、生徒はどの程度覚えられたのか確認されているのか。参加者の声を聞くと、1回や2回で覚えられない。やっと覚えたと思っても忘れてしまう。また行こうと思うが、そう何回も行けない。折角やっているのであれば、ある程度できるような教え方、勉強の仕方を考えていただきたい。</p>
小林委員長	<p>パソコン教室をおやりになっている公民館から、お答えをお願いします。 小出委員の発言は、講座の後の受講者の満足度ということに関係する話だと思いますが。</p>
宗村中央公民館長	<p>講座など終了後におきましては、毎回アンケート調査をさせていただいています。その中でパソコン講座については、技術の習得が第一目的ですので、できるようになったかということ聞いています。一つの例ですが、昨年、中央公民館で実施しました年賀状づくりのパソコン活用講座で、年賀状が作れるようになりましたかとの問いに対しまして、ある程度できるが72%、あまりできないが18%、作成できるようにならなかったが9%でした。7割くらいの方が、ある程度できるようになったという数字です。結果として3割くらいの方がなかなかできなかったということは、講座の教え方に問題があったのか、あるいは家に帰って練習する環境でなかったかわかりませんが、いずれにしてもこのパーセンテージが高まるように行っていきたいと思っています。</p>
小出委員	<p>もし、覚えられなかった時は、何回か受けられるのでしょうか。</p>
宗村中央公民館長	<p>中央公民館の場合、広報さんじょうに掲載させていただく関係で、全市民の方にそういう講座が開かれていることがわかるわけです。今回5月も定員12人で募集したところ67人の方から申し込みをいただきました。そういう状況の中で、それだけやるわけにはいきませんが、できるだけ回数を増やして要望に応えた</p>

田中委員	<p>いと思っています。</p> <p>公民館主催のパソコン教室をきっかけに何回かやってある程度覚えると、もう少し勉強したい人は、民間の業者さん等に行って勉強すると思う。公民館は、ステップを作ってやればいいのではないかと思います。私の友達も勉強してやれるようになりましたが、公民館は初歩の段階を教えるのでいいのではないのでしょうか。</p>
小出委員	<p>何回も申し込みをするのが、心苦しいということを聞きますので。</p>
小林委員長	<p>公民館で空いている場所があればよいのですが、田中委員が言われたように、入門編ということで対応されるということだと思います。</p>
野崎委員	<p>公民館で、通学合宿について実施されているところがありますが、例えば、山手の地域で、冬場に限っての通学合宿というのはいろいろ成果を聞いていますが、三条地域での評価や参加された方の親御さんのお話をお聞きしたい。</p>
小林委員長	<p>下田公民館が実施していたと思いますので、今の質問にお答えをお願いします。</p>
佐藤下田公民館長	<p>今まで参加した生徒、保護者、ボランティアのアンケートの冊子を作っています。今、手元にありませんが、参加して良かったという感想が多かった。</p>
野崎委員	<p>子ども達が家庭を離れた時の団体生活の中での生活の状況とか、地域によって違いますが、例えば山深いとか冬場などの分校的な合宿はありますが、こういうところでの意図はわかりますが、子ども達の反応はどうでしょうか。また、親御さんの反応はどうですか。</p>
小林委員長	<p>18年度の事業報告の時に、子ども達のアンケートの結果が載っていたと思います。全部記憶をしていませんが、例えば子ども達の異年齢の交流だとかいろんな面で充実していたと記憶していますが、どうでしょうか。</p>
佐藤下田公民館長	<p>特に、「新しい友達ができた。いろんな学校の学年が違う友達ができた。」ということが一番多かった。以前は7泊8日ということであり、現在は4泊5日で行っているが、この期間で生活習慣が明らかに変わったということは聞いておりません。</p>
小林委員長	<p>野崎委員、そういうお答えです。それとこれから中央公民館が新たに立ち上げるわけですが、何の目的で子ども達にどういうことを期待して通学合宿を企画したのか、そういう視点で説明をお願いします。</p>
宗村中央公民館長	<p>合併をして初めて下田地区がこういう事業を実施していることが分かりました。下田館長の説明にもありましたように、違う学校の子ども達、あるいは違う年齢の子ども達が、今一緒になって何かをする機会が少ない。仮に公民館で何か子どもの事業をするうえでもほんの一時的でしかありません。ある程度の期間の中で、一緒に寝泊りをして、風呂に入って、ご飯を食べてといった中で新たな友達作り、仲間作りができるように、ということで今年から計画をさせていただいた。今年が初年度ですので、結果については子ども達や保護者からどういう風な評価をいただけるか分かりませんが、できるだけ良くしていこうと、来年以降も続けていきたいと思っています。</p>
小林委員長	<p>よろしいですか。</p>

野崎委員	はい。ありがとうございました。
小林委員長	平成19年度の事業計画についてはよろしいですか。
宗村中央公民館長	私から1つだけ、開催要項の内容ですが、対象に興味のある方という表現が各所に見られます。わざわざ明記をする必要性はあるのでしょうか。
小林委員長	事業の中で、その地区の住民とか勤務されている方のほかに興味のある方がありますが、その地区の住民の皆さんだけではその講座や事業が成り立たなくなってくることもあり、他の地区の方も構いませんよということで、興味のある方と書いてあります。
宗村中央公民館長	52ページ、53ページの本成寺公民館、成人講座、笹団子作りの参加者ですが、興味のある方として、本成寺地区在住者はまず該当しますよね。ほかに興味のある方と明記があればわかるが、初めから興味のある方のみ明記させているのは、どうなのでしょう。本成寺地区の方で定員に満たないから、他の地区の方も参加できますというのであれば、中央公民館長のお答えでいいが、いかがでしょうか。
小林委員長	これは、どういう開催要項の内容にするか決めていただければ結構ですので、回答はいいませんが、この点も含めてご検討ください。
宗村中央公民館長	ほかになければ、次に「公民館の長期講座のあり方及び今後の方向性」のと運針の対応について説明をお願いします。
小林委員長	今年3月20日に審議会から答申をいただいた件の公民館側の対応について説明をする前に、今回15人の委員さんのうち10人の委員さんが代わられましたので、なぜ、運営審議会に諮問するに至ったか、その経緯から説明させていただきます。
山井委員	—— 資料に基づき、パソコン・プロジェクターを使用して説明 —— 中間的なものにして、私達が答申したものに対し、早速こういう形のあるものでお応えをいただきまして、感謝申し上げます。
宗村中央公民館長	これについて、ご質問、ご意見がある方、お伺いいたします。 ございませんでしょうか。
小林委員長	それでは、それぞれの公民館長さんありがとうございました。早速にお応えいただき、これに関わった公民館運営審議会委員は、こういうお応えをきちっと返していただいたことについて、励みになると思います。これが、実効性のあるものになるよう、ますます励んでいただきますようよろしくお願いいたします。
山井委員	それでは、次に移ります。
宗村中央公民館長	その他について、何かございませんでしょうか。
小林委員長	「公民館運営審議会委員の手引き」6ページの、公民館運営審議会が調査審議する内容の4番に、教育事業に参加した地域住民が学習した結果を社会に還元できるかどうか、また、還元しているかの視点に立つことが必要、とあります。公民館は、趣味的要素が強いので、それができれば更に活発な活動ができると感じました。
宗村中央公民館長	学習の成果を社会に還元するのは、大事だというご発言だと思います。先ほどもお話したとおり、講座からできるだけサークル化に移行していただきたい、

<p>小林委員長</p>	<p>その中で自分達が学んだものを発表していただくのが地域への還元につながっていくのではないかと考えています。</p> <p>折角の機会でございます。ご意見、ご質問がありましたらお受けしたいと思います。</p>
<p>丸山（正）委員</p>	<p>講座を受講された方が終わりにあたり、アンケートをとられていると思います。アンケートをとることは非常に大切なことだと思います。この講座が良かったのか、ちょっと不満があったのかということになると思う。例えば、企業にとってみればCSというのがあります。お客様満足度ということです。公民館は、受講者満足度ということを常に捉えていく方向にいったほうがいい。例えば、アンケートの終わりに今回の講座は満足でしたかなど、これを5段階評価等、各公民館同じような評価の仕方をやっていけば、例えば、あまり良くなかったに丸をつけた方は、何かしら不満があるわけで、それを拾い上げていくことが、次の計画につながっていくのではないかと気がします。アンケートの話がありませんでした。そういう考え方を取り入れていただきたい。</p>
<p>宗村中央公民館長</p>	<p>アンケートにつきましては、昨年から審議会の中でもお答えさせていただいていますが、丸山委員がおっしゃられたとおり、満足したかどうかを聞くようにしています。それと、開催の目的があるわけですが、開催の目的が達せられたかということも、満足度とは別にそういった視点も必要なわけですね。アンケートの結果を次につなげていくようにと考えています。</p>
<p>米山委員</p>	<p>男の料理教室で、夜は出にくいとの説明であったが、仕事の関係で参加できない方のために利用者の立場に立った曜日や時間を考えていただきたい。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>サークルについては、子育てが終わった方や時間に余裕のできた方が自主的にサークル活動を始めたいと思っている人たちがいる。公民館からの指示でなく、地域のニーズに沿った人づくり、リーダーを育てる人づくりも大切で、その方が公民館事業もやりやすいのではないかと。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>2つお話がありました。前段の男の料理教室は受講者の立場を考えて、日ごとの設定をお願いしたいという要望です。</p> <p>後段のサークルのことですが、先ほど来のサークルの件は、公民館の講座の中で発生したサークルのお話です。今の米山委員のお話は、自分達が何かを作ったサークルを作る時のお話ですから、公民館の事業とちょっと違うと思います。ただ、公民館でも何かを立ち上げたいという人達には相談にのってくださる方もいらっしゃると思いますので、そういうお話は、公民館の館長もよくご存知だと思いますのでご相談してはいかがでしょうか。</p>
<p>川沼委員</p>	<p>全体のことで、さきほどからアンケートをとったりとかいろんな仕事を公民館に言われているが、合併以来、職員が減っている中でいろんな仕事を増やしているのでしょうか。公民館に連絡がつかないこともある。原点に戻って検討したほうがいいのではないかと。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>私達は、公民館長から諮られたものを皆さんに議題として出して、議事を進行しています。公民館長から私達に「公民館職員の手が足りなくてどうしようもない、どうしたらいいか。」ということについて意見を求められればここで検討し</p>

<p>川沼委員 小林委員長</p>	<p>ますが。 私は、住民としてそのことを感じているので要望したい。 そういった要望はこの審議会ではなく、市長の方にしていただくものと思います。お気持ち、お考えは、公民館には十分に通じていると思います。</p>
<p>高井委員</p>	<p>公民館活動に参加するのに、月2千円は安くはない。年間2万4千円。その他に使う用具等の費用や発表会もあります。費用が続かない。それに高齢者の方は、気力が続かない。重いものは持てない。机やいすを出すにも当番でやっているが、腰を痛めている人や女性などは行事に参加しづらい。高齢者に無理な講座もある。公民館の方で、机のセッティングをお願いできないのか。文化祭になれば、更に総動員で準備をするが、パネルの柱が倒れたりして危ないこともある。事故があっては困る。新しいこともいいが、現在の人達の処遇をどうするか。それから、駐車場が満車のこともある。それらについても、緩和できないのか。</p>
<p>小林委員長 宗村中央公民館長</p>	<p>多岐に渡って、公民館に対する要望等がございました。お答え願います。 最初の2千円の話は、先ほどの長期講座の講師先生への謝礼のお話だと思えます。説明が不十分だったかもしれませんが、最大限ということ。受講者1人最大限2千円くらいの謝礼の中で、講師をやっていただくということをお願いできないのか、ということ。最大ですから、もちろん0円ということもあります。先日訪問した長岡市のコミュニティセンターのサークルで講師謝礼が千円とか千五百円くらい。サークルと公民館事業で異なるものの、長岡と同じような内容をするのに、謝礼の額を下げても三条で本当にできるのかということもあり、せいぜい、最大それくらいの範囲内でやっていただけないかということが原案です。これから、各地区公民館長さんのご意見を聞きながら、どれくらいが最大限なのか検討していきたい。 次に、高齢者の方が大変なので公民館でいろんなことをするとき、公民館の職員の手助けをとということですが、職員の減もありますし、一方自分達ができることはできるだけ自分達でやっていただきたいという中でお願いしたい。職員は、できる範囲の中でお手伝いをさせていただきたい。 駐車場の件ですが、物理的に、例えば嵐南公民館なども駐車場がなくて困っているが、新規で借りるにも財政的にも難しい状況にある。私共も、決していい状況とは思っていない。機会があるごとに、財政当局にお願いをしている。そういう状況にあることをご理解いただきたい。</p>
<p>小林委員長 宗村中央公民館長</p>	<p>満足なお答えでなかったかもしれませんが、今の状況では手いっぱいというお答えだったと思います。 ほかにないようですので、事務局の方から事務連絡をお願いします。 事務連絡の前に、下田公民館改築本体工事の件について報告をさせていただきます。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>—— 配布した図面に基づき、概要を説明 —— ただいま、下田公民館の改築工事について説明がございました。質問はございますか。 それでは、事務連絡をお願いします。</p>

<p>金子館長補佐</p> <p>小林委員長</p> <p>鈴木副委員長</p>	<p>—— 7月20日開催の第58回新潟県公民館大会の件、7月12日開催の中越公民館研究大会の件について連絡 ——</p> <p>新潟県公民館大会、中越公民館研究大会の出欠について、6月22日までに中央公民館金子補佐にご報告くださいということです。</p> <p>以上をもちまして、本年度第1回公民館運営審議会を終了いたします。</p> <p>事務局が作成しました会議録につきましては、調整の上、情報公開コーナーに提示いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>閉会に当たりまして、一言お願いがございます。今日は大変活発なご意見を皆様からいただきましてありがとうございます。公民館側も大変熱心にお答えいただきまして、感謝申し上げます。</p> <p>今日は初めてで、ご発言の機会がなかった方は、次からはご発言をいただきますようよろしくお願いいたしますと思います。</p> <p>それでは、副委員長さん閉会のごあいさつをお願いいたします。</p> <p>閉会にあたりまして、一言ごあいさつをいたします。</p> <p>今日は、大変ご多忙のところ大勢の皆さんからお集まりいただきまして、長時間に渡り慎重審議をいただきましてありがとうございます。</p> <p>平成19年度の三条市の公民館事業が皆さんからご検討していただきまして決まったわけでございます。これから多くの市民の方々から、公民館事業に参加していただきまして、活発に実施できますことを期待を申しあげまして、簡単ではありますがごあいさつに代えさせていただきます。今日は大変ありがとうございます。</p>
--	--